



地域の日本語教育体制整備に向けた取り組み

公益財団法人京都府国際センター 近藤徳明

京都府の国際化の現状

▶ 京都府に住む外国人の数

64,070人

(前年比3,932人増)

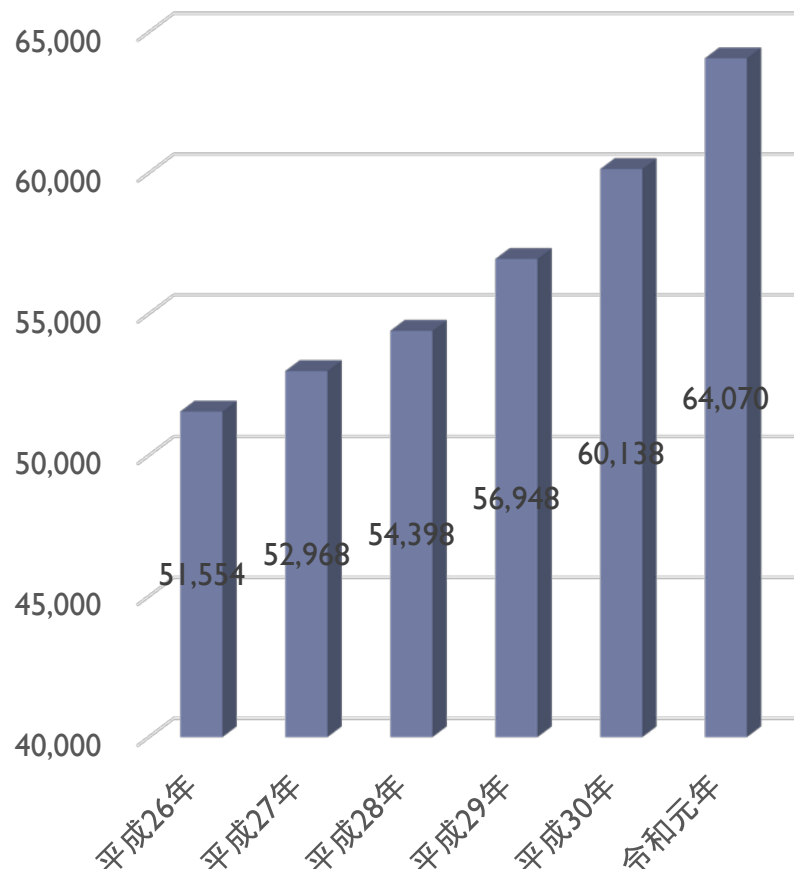
ネパール 1,052人(38.6%増)

ベトナム 6,130人(36.0%増)

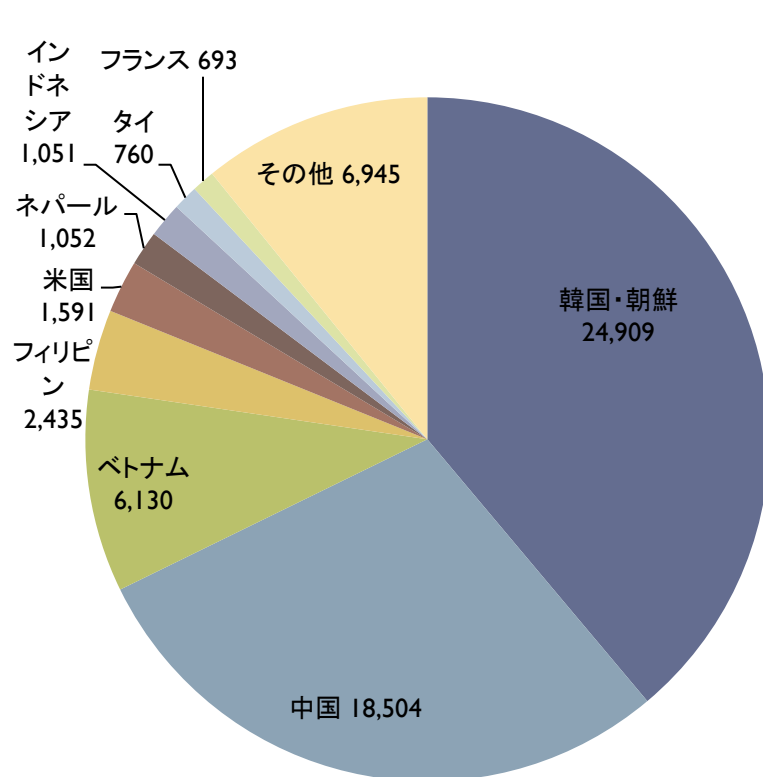
インドネシア 1,051人(16.1%増)

中国 18,504人(9.2%増)

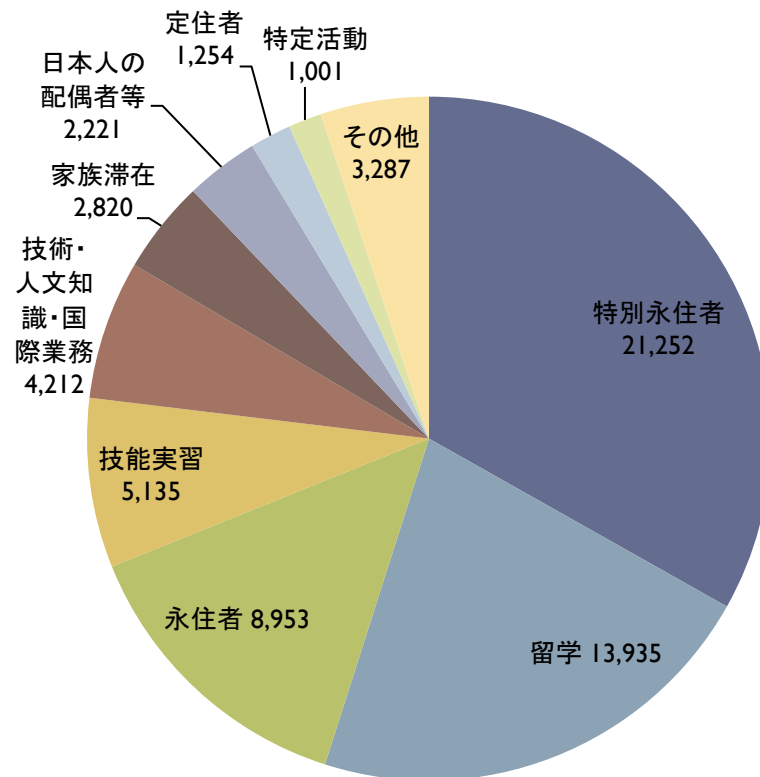
外国人住民数の推移



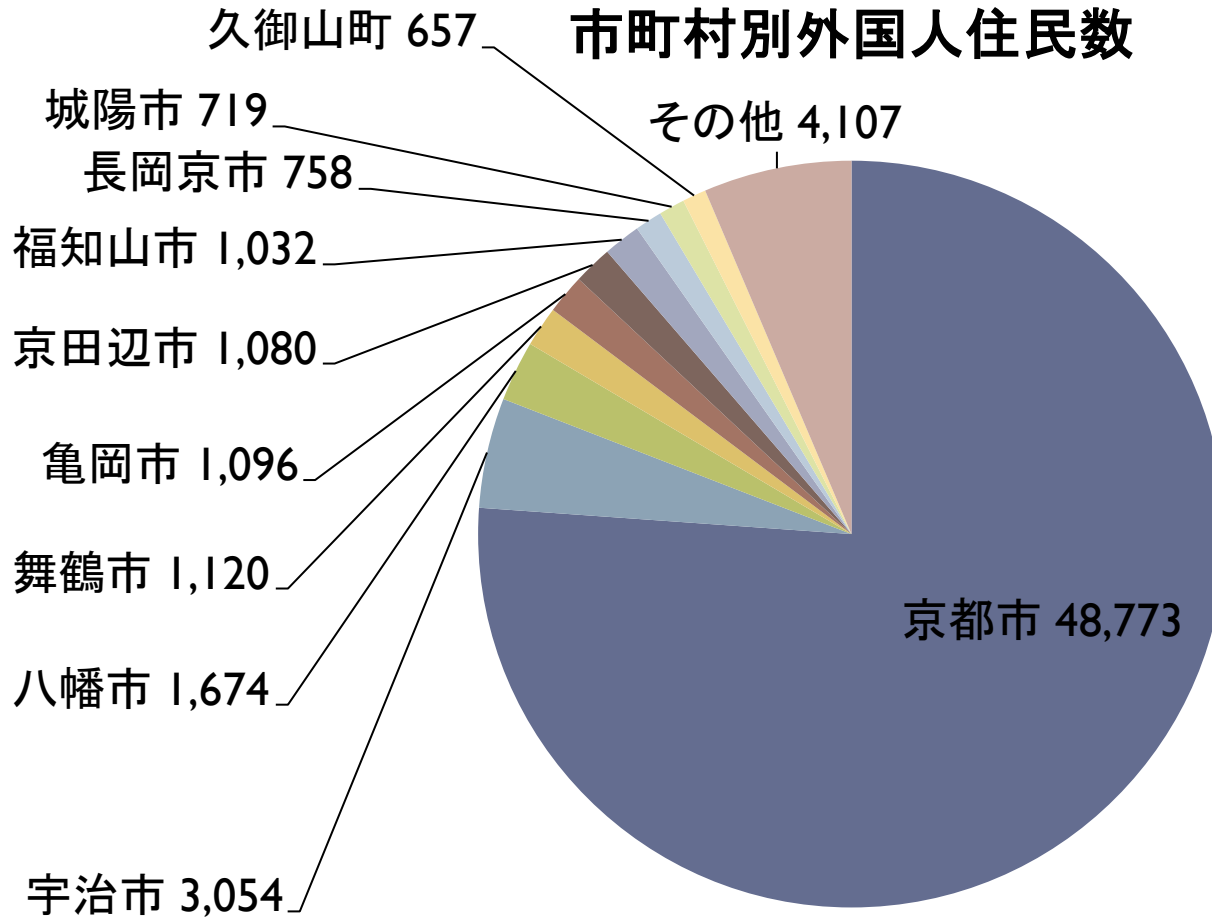
国籍別外国人住民数



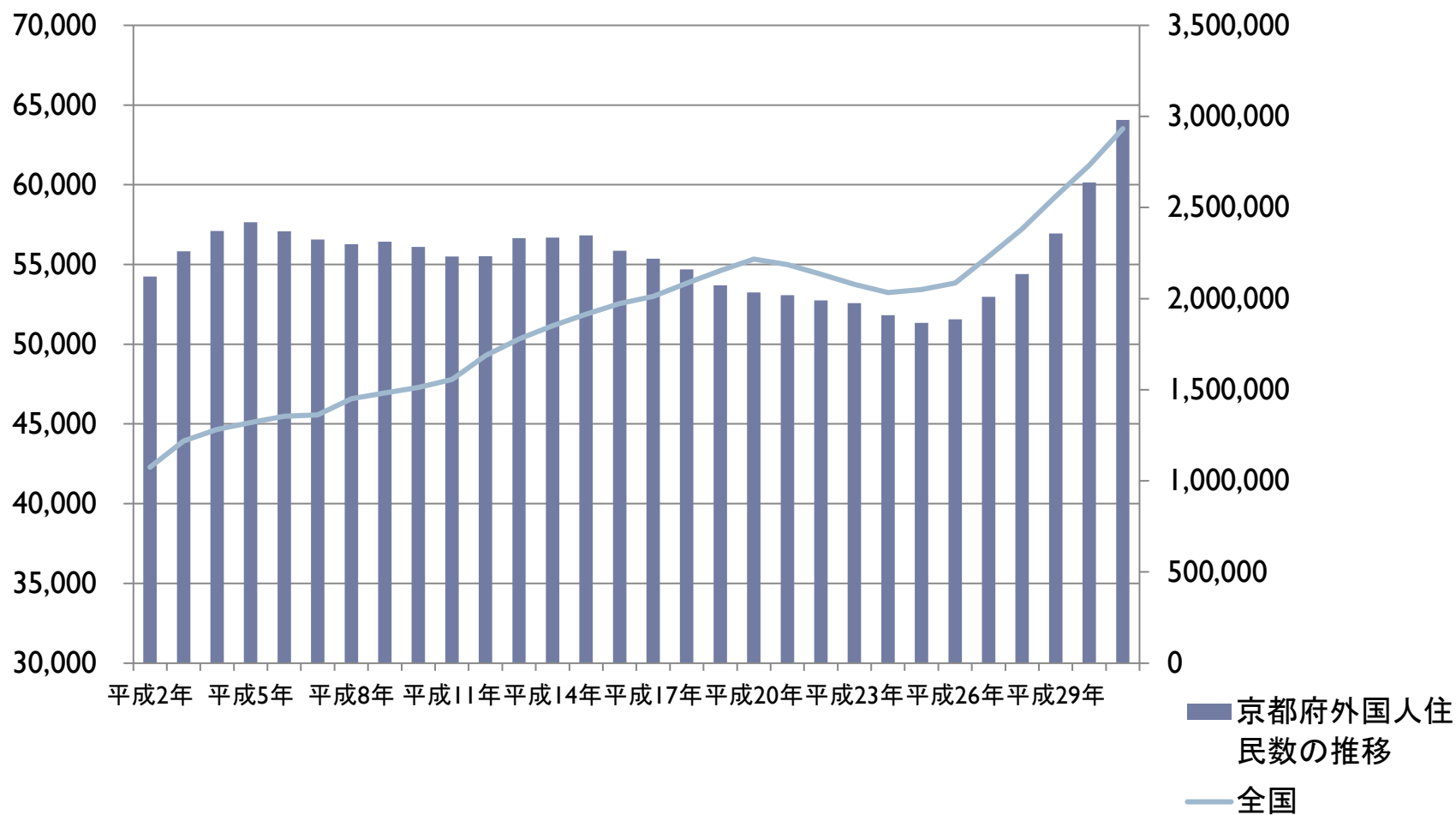
在留資格別在留外国人数

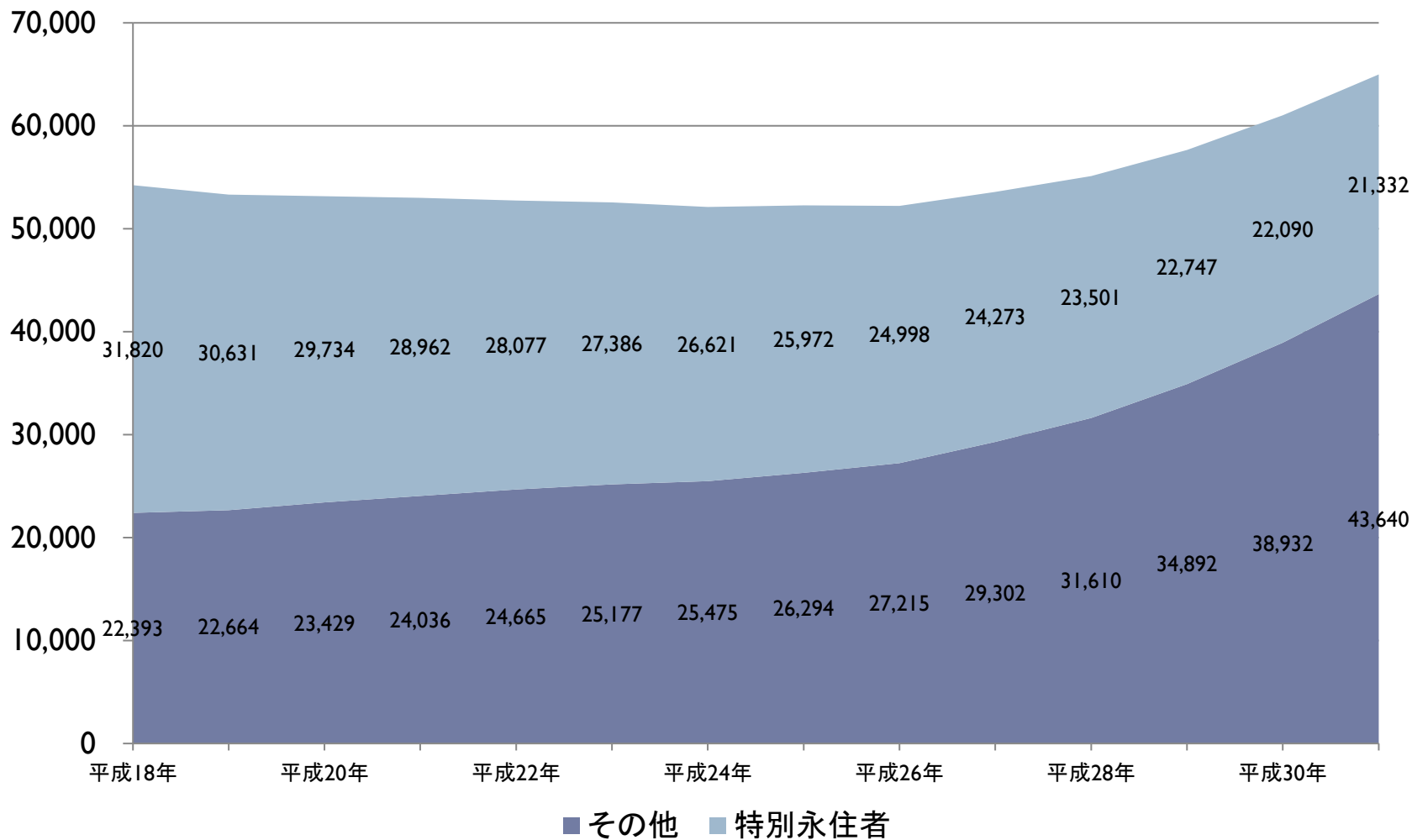


市町村別外国人住民数

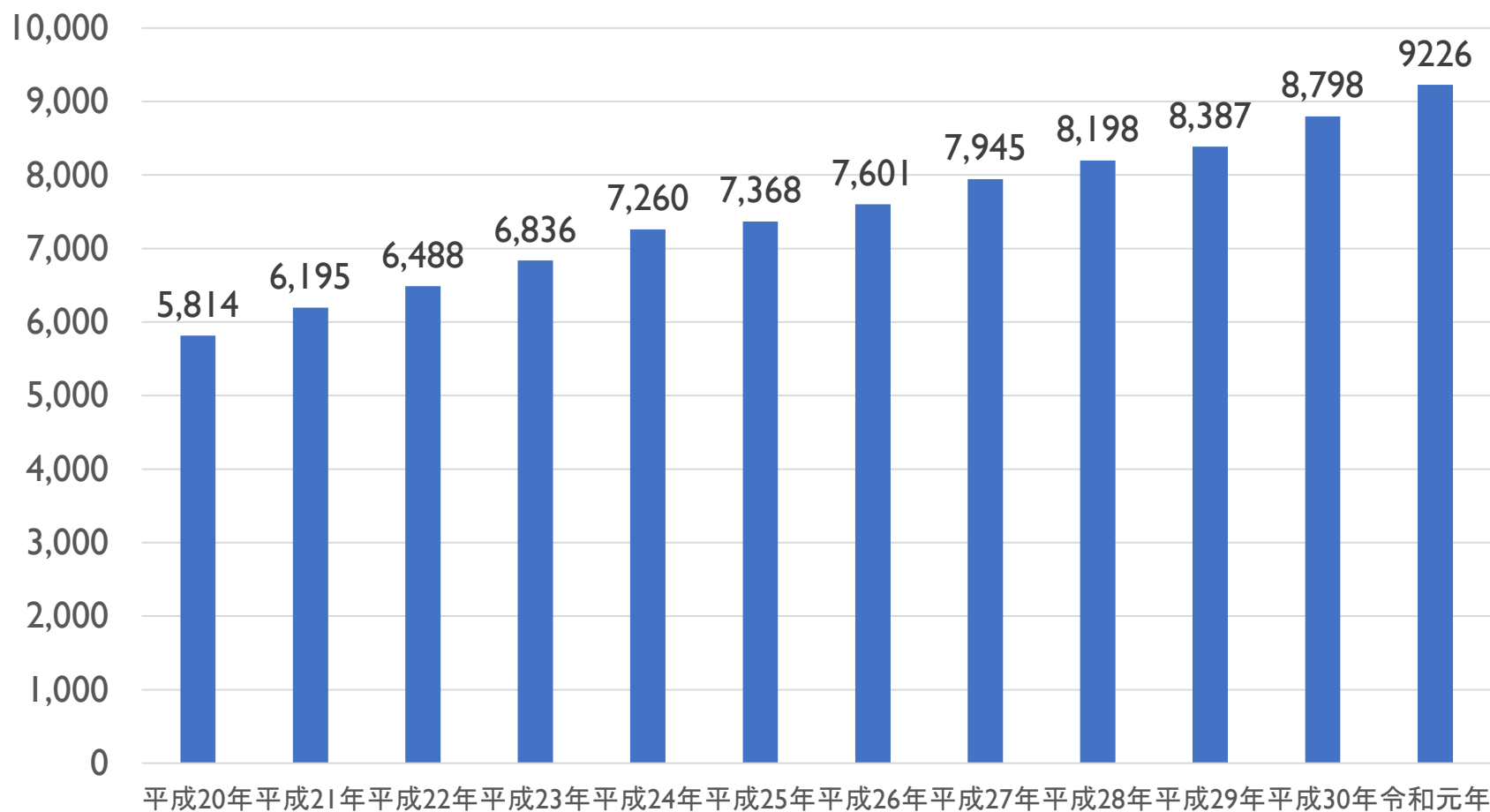


広域散在





永住者の推移



京都府内の市町村国際化協会と 地域日本語教室

【地域国際化協会】

公益財団法人京都市国際交流協会

【市町村国際化協会】

京丹後市国際交流協会

宮津市国際交流協会

与謝野・アベリスツイス友好協会

NPO法人舞鶴国際交流協会

福知山市国際交流ネットワーク会議

綾部国際交流協会

京丹波町国際交流協会

南丹市国際交流協会

亀岡国際交流協会

長岡京市友好交流協会

大山崎町国際交流協会

宇治市国際親善協会

城陽市国際交流協会

京田辺国際交流協会

せいかグローバルネット

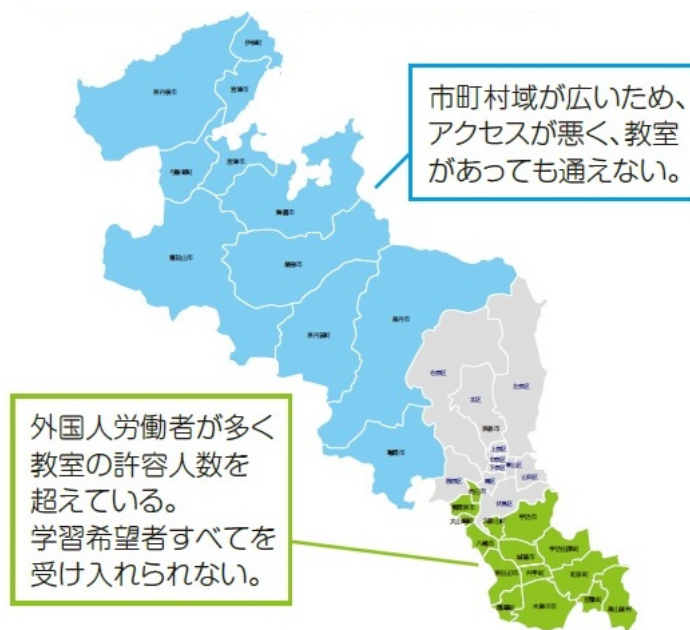
木津川市国際交流協会

府内の日本語教室の現状

外国人住民の日本語学習の場が不足

日本語教室がある市町村数

26市町村のうち**16市町**



ボランティアによる教室の運営

高齢化の進む地域では教室が閉鎖。

財源や活動場所の確保が容易ではない。

日本語教育についての地域の現状

- ▶ 外国人住民が広域に散在していることから、各市町村の施策としては優先順位が高くない。
 - ▶ 府内市町村国際化協会や地域日本語教室の多くは人員も財政も非常に限られている。特に地域日本語教室は行政の支援も得られずにボランティアの善意と熱意で成り立っているところがほとんど。
-

日本語教育における課題

- ▶ 日本語を学ぶ場所がない → 日本語教室の立ち上げ
- ▶ 日本語を指導する人材の不足 → 人材の養成
- ▶ 日本語指導について学ぶ機会がない → 研修機会の提供
- ▶ 教室同士のつながりがない → 教室のネットワーク化

課題解決のための地域のリソース

- ▶ 市町村国際化協会
- ▶ 日本語支援ボランティア
- ▶ 大学・日本語学校
- ▶ 地域日本語教室ネットワーク組織

京都にほんごRings

京都にほんごRings

- ▶ 2002年7月結成。京都府内20の地域日本語教室から構成されるネットワーク団体。当センターとの相互連携により日本語支援ボランティア・団体をサポート。
 - ▶ 主な活動
定例会（年4回）、研修会の企画・運営、HP・MLの運営
 - ▶ 当センターが実施するボランティア養成講座や研修会では研修チームを講師として派遣。京都府の日本語教育体制整備に不可欠な存在となっている。
 - ▶ 市町村・地域自治功労者表彰受賞（2020年）
-

取組内容 人材の養成・研修

▶ 日本語支援ボランティア研修会

- ▶ ボランティアのレベルアップを通して日本語学習支援の充実・活性化につなげる

▶ 日本語支援ボランティア養成講座

- ▶ 日本語学習支援を担う人材を養成することで地域日本語教室の立ち上げを支援する



- ▶ 京丹後市(H21)、城陽市(H23)、南丹市(H25)、亀岡市(H26)、京丹波町(H27)、福知山市(H28)、舞鶴市(H29)、久御山町(H30)で実施し、各地域での教室開設を支援。今年度は宮津市で実施
 - ▶ ※福知山市、舞鶴市はその後、地域日本語教育スタートアッププログラム(文化庁)に採択
-

取組内容 モデル日本語教室

▶ 外国人住民のためのにほんご教室

- ▶ 年3回(5～7月、9～11月、1～3月)
基礎クラス(20回)、会話クラス(10回)
- ▶ 学習教材の公開と府内教室からの
授業見学受け入れ

※今年度はオンライン対応



取組内容 ネットワークの形成

▶ 京都府北中部地域日本語教室ネットワーク会議

- ▶ 第1回準備会(平成24年12月)、
第2回準備会(平成25年3月)

- ▶ 第1回ネットワーク会議(平成25年8月)
参加団体:市町村国際交流協会および
日本語教室(11団体)



- ▶ ボランティア日本語教室ネットワーク「京都にほんごRings」との協働
※南部地域については「京都にほんごRings」定例会議を年4回実施
-

取組の過程

年度	ネットワーク	支援者研修	支援者養成(教室立ち上げ)	モデル教室	その他
H21		北部3市合同研修	京丹後市		
H22					
H23			城陽市		
H24	・北中部ネットワーク 会議立ち上げ ・教室運営研修			・学習教材の作成・公開 ・授業見学受入	府内教室マップ作成
H25		北部、中部、南部	南丹市		
H26		初期指導	亀岡市		広報研修
H27			京丹波町		WEBレッスン
H28			福知山市		
H29			舞鶴市		啓発事業 (Rings15周年)
H30			久御山町		
R1					
R2			宮津市		

成果と今後の取組

成果

- ▶ 養成講座や研修会など人材育成により教室の新設やボランティアへの研修機会の提供ができた。
- ▶ 日本語教室の設置によりカリキュラムや指導法など地域に向けて参考となる教室モデルを示すことができた。
- ▶ 日本語教室のネットワーク化を実現することにより教室間の情報共有や日本語教育体制整備についての検討の場ができた。

今後の取組

- ▶ 教室空白地の解消と教室存続への支援（行政機関との連携）
 - ▶ 各教室において課題となっている初期指導の取り扱いへの対応
 - ▶ 日本語教育の意義を周知し、その必要性について一般住民の理解を得る。
-